

# 明日から越冬斗争突入だ

12月25日～'92年1月8日あさ

## 仲間の命を仲間の手で力で守り抜く

仲間たちへ正月のアフレ期を向える準備はできただろうか。仲間も分っていると思うが、今年はこの年間に比べて仕事量が減ってきている。来年の見通しも暗く、深刻なアフレ期を予想される状況にある。

ワシら日雇にとってアフレかどういう意味をもつか。古くから寄せ場にいる仲間はよく分っているだろう。4年オ一次石油ショック以降、釜ヶ崎に一台も車がない日が続いた。そのころへんをはくような思いをした仲間は、今はどういったアフレにぞなえている。しかし、そういった日雇にとって命をもうほう深刻なアフレを知らない仲間がほとんどの今、又多くの日雇が年をとって他に転る変えることのみをなくなく、この今日のアフレは、以前と倍する悲惨なアフレ期を感して来た。

そのような時代を回るにあたっての今年から来年にかけての越冬斗争の役割は非常に大きいものがある。

ワシら日雇にアフレを強いる責任はここにあり、唯だワシらに野垂れ死を強いているのみ。唯だワシらと日雇の仕事になり出しなからもうけているのか。それらを明らかにしていく闘いが必要なのだ。

国や市、府の行政は、この正月のアフレ期に入里はなれた南港に臨時宿泊所を設けてお茶をにっこしている。多数の体育会系の学生のアレイトを使い、機動隊を動員しワシら日雇を犯罪者のごとく収容する行政。ワシら日雇を使うだけ使いお口もうけしている大手建設独占や団、地方自治体かアフレの責任をとるのは当然のことだ。ワシら日雇を助けてや、こいと言やんばかりの行政のやり方を絶対に許すわけにはいかない。

仲間たちへワシら日雇に野に死を強いるヤツらを断固利弾し、オの回釜ヶ崎越冬斗争を仲間の力でやり抜こう！

今日の準備に入ります。ぜひ御協力をお願いします。

# ★22回釜ヶ崎越冬斗争スケジュール

	あさ	ひる	よる
12/25	情宣	マキとり	突入集会 (於:三角公園) 時:よる60' フン(き (医療センター) パトロール
26	医療相談 80' モ千代カンパ (於大阪港)		
27			
28			
29	臨泊押し込み斗争		殺人行政利弾集会 (於:三角公園 時:60分) 三角公園でも野営 たき出し
30	臨泊押し込み斗争		
31			のど自慢 (三角公園)
1/1	衣類放出 (三角公園)	スポーツ (三角公園)	ライブ (三角公園)
2	モチつき・ライブ (三角公園)		新谷のり子 (三角公園)
3		ハンドソフト	新井英一
4	対市・府抗議行動		
5			
6			
7			
8	医療センター下・三角公園片付け		

正月期の寒さ地獄、アブレ地獄をうちやぶる

# 越冬斗争をやりぬこう

## 本日 突入集会 (よる6じ) 三角公園

釜の仲間たち、いよいよ今日から寒さ地獄、アブレ地獄をうちやぶる越冬斗争に突入する。アブレが厳しくなる状況の中で、今回の越冬斗争のしめる役割は非常に重大なものとしてある。この間仕事が増加する傾向が、続くなかアブレに対する警戒心も弱まり、越冬への感心も弱くなってきた。しかし、被害は忘れたころにやってくるものである。深刻なアブレにさなえ、仲間の命を仲間自身の手で守る。闘いをつみ重ねながら、アブレと闘う団結をかためていかなければならない。今越冬斗争のなかで一人の仲間の命を奪わない闘いをやりぬこう。

ワシらの闘いに多くの仲間が応援し支援してくれ。学生や労働者、市民、住民運動団体、そして被差別部落大衆や在日朝鮮人の仲間が、釜ヶ崎に来てワシらと共に越冬を闘ってくれる。今日夜6じ、三角公園での突入集会から、ワシらのフロンティア、昨日朝の屋敷相談までの越冬を共に闘う出発点として集会を同催する。多くの仲間がよる6じの三角公園に結集してほしい。

### 昨日、大巾斗争を闘いぬいたぞ！

大巾糾弾実行委

おととし（八九年）四月二三日、大巾に救急搬送された釜の仲間さん、  
「肋間神経痛」と診断され、翌朝大巾に再搬送され一時間半も放置されたまま心臓を破裂させ殺された事件がおこった。この事件をきっかけに抗議行動は毎月、二  
四日、朝センター情宣の他、夕ひからの大巾前抗議行動、同時に「大巾の救急指  
定取消し」と求める署名集めを行ってきた。

昨日の抗議行動では、大巾の元従業員の人から「5年間働いたにもかかわらず社  
会保険もなく、夫人の院内婦にも啓蒙費、交通費を出さない」と証言を聞き、そ  
のひびびにあきれました。そのシワよせが患者にもきていると思えます。

今回の事件は氷山の一角です。大巾を仲間が安心してかかれる病院にしていこう。

# 雨中、300名の仲間 突入集会をやりぬいたぞ

雨がシトシト降り続く中、300名もの釜の仲間、支援の仲間が結集し、4つのたき火をとり囲み元気ある集会をもちこたえられた。

集会は実行委のだんごりの鬼ごっこから7時すぎから開始した。まず実行委から代表として釜白野春員長山田からのあいさつから始まった。続いて各戦線からアピールとして、わてうと釜ヶ崎、釜ヶ崎支援連帯会議、京大、同志社、関学の学生、釜日労、部落解放同盟奈良県連青耳部、キリスト教協会より寄せられた。次に警備班、文化班、パトロール班、炊事班から越冬に向かう決意を述べられ、たき出しを食べて医療センターまでのワフシヨイテモと奮闘した。

その後、医療センター下の布団をしき、医療パトロールに拘った。

雨の中越冬の準備も手伝ってくれた仲間は、感想を次の方に語ってくれた。雨の中にもかかわらぬ学生や支援の前に参加した時より多くの人が参加してくれてよかった。働き人にとっては一語に斗ってくれ仲間も喜んでいました。シェフレヒコールも元気があつた。ひさびさのけきあめもよかった。

今日、釜白野のモチ代支給カーンパ

☆☆☆☆

12月25日  
[医療パトロール報告]

北まわり	32名
南まわり	67名
山王方面	20名
センター	82名
計	201名

去年140名に比べ60名も増えている。

**今日から医療相談が始まるぞ!**

あ、九時から十時半の間に、医療センター前に集まって下さい。

今の釜の医療の現状では、身体を患くしては遅すぎる。自分の健康は自分で守ろう。

救急では大和中央のようなタオチ病院にしな搬はれない。

身体の調子の悪い仲間、ケガをした仲間は是非来て下さい。お金の心配はいりません。ただだしの補は飲まないで来て下さい。

医療班より

日刊えっとう '91.12.27 第4号

釜ヶ崎越冬闘争実行委員会  
〒557 大阪市西成区萩之茶屋2丁目5-23  
釜ヶ崎解放会館 2階  
電話 06-632-4273

# 25日、釜周辺で201名の仲間 が野宿を余儀なくされた。 野に死攻撃を許すな

釜の仲間たち、越冬斗争に突入した。昨日の医療パトロールの結集、釜周辺で野宿を強いられた仲間は二〇一人であった。昨年に比べ六〇名も増えていた。

例年よりもあたたかく、何故か雨が多し。あたたかいからと気をゆるめてはおられない。急に寒くなった時、気温の変化に体がついていけず死んでいく仲間が多いからだ。野宿を余儀なくされる全ての仲間が臨時宿所に入り、正月の仕事を全くない時期をのりこえていこう。ワシラは白昼を歩くことを使いボロもうけてきた大手袖白資本や国、地方自治体が仕事のない時期に、最底限の生活保障を行うのは当然のことだ。なんだかんだと理由をこじつけ臨時宿所を締め出すことを絶対に許さず闘い抜こう。そして臨泊をマタでやってやっていると、言わんばかりの市の対応を許さず、機動隊と体育会系学生がドマシを高い金を使い、有る線まで入り固む保安処分施設としての役割をこなすのに打ち砕く臨泊斗争をやめぬよう。アプレの責任は、建設大手独占や国にある。あいりん地区は釜に仕事をもちこい。白手帖を取っただけ取りあげて仕事は少なくなっても知らんふりは絶対に許さん。年ばいの仲間は手帳も取りあげられ、仕事も頼みつけに行けず、寒い夜空下にはおろし野に死を強いられている。ワシラに野に死を強いる殺人行政と徹底弾圧しよう。

昨日の築港でのカンパ、御協力ありがとうございます!  
147,642円でした。トータルで1,045,502円

中間の声

今日事務所で、情宣班として越冬斗争に参加している労働者にインタビューしました。

越冬斗争で布団を敷く側で参加するのから回目というこの人は、年令60才、釜に来て25年というバテランです。昨日の集会は雨が降ってなかつたらもっと人が集まったやろな、と少し残念そうでした。釜にきて25年にもなるというのとですから、医療センターかできさよりも前西成分会のヤ一回越冬斗争よりも前から釜にい

う。と、青カンと強いられた労働者のことを他人ごととは思えない気持ちで越冬に取組んでいる態度に、真剣味を感じました。

日本経済は後退しつつあるなか釜の老人も人目頃から減っており、長期的にアメリカが続くと思われます。事に行っているのかと聞いたところ、「顔つけしか行かれへん。オレは車から降された。」と厳しいアフレの言葉をもうにこうもつていきます。先日まにやけどを感ったでつて、さうなも前は、「週3から4日は仕事に行けど、

るわけです。しかし、釜と斗との関わりも、花園園のテント村の攻防も体験してみられず、布団を敷いてもらう側から布団を敷く側になつて越冬に参加するのは2回目というわけです。

それまでやはり青カンを余儀なくされ、昨日のバトのことも「山王方面に行ったか、青カンか多くんもあつた」と心配そうに語り、更に「オレは昔、エビス町で青カンしとった。自分としては越冬が一番必要なのはアイビヤと思

た。契約も週5日行けるのに、飯場に入っても仕事ないから買殺しにされるだけや」と悔しそうにしています。それでる飯場にいらはとりあえずメシにはありつけます。

労働者に話を聞く私自身としては、釜に関わるにあつては、労働者の、とにかく食えない。という厳しい状況を見通すことも許されない気かして、再度連帯の内定を問われたように思いました。(インタビューがメラさん)

12月26日医療相談結果

相談者	25人	入院	2人
(うち2人救急搬送)			入寮
受診者	20人	外	3人
市更相	12人	(現金)	1人
		却下	5人

医療パトロール報告

北まわり	37名	パトロール参加者 74名 ※ 今年の同じころには、アオカンの仲間はいない。
南まわり	76名	
山王方面	42名	
センター	117名	
計	272名	

☆☆☆ アイヌ民族の解放を闘っている北海道の樺さんから  
 シヤケ10尾のカンパがありました。遠くに住む同朋の身を安するあなたがいかにカンパです。共に差別と闘おう!

日刊えっとう '91.12.28 No.5

釜ヶ崎越冬闘争実行委員会  
〒557 大阪市西成区萩之茶屋2丁目5-23  
釜ヶ崎解放会館2階  
電話 06-632-4273

# 雨と寒さのアヲシ地獄 仲間の命を仲間の手で守ろう

26日夜釜周辺で野宿を強制された仲間は272名。(去年の倍)

又だといふのに本当に大雪降る雨  
を。アブレにさらに雨で追いつらな  
かけられ、ワシラ日産を正に地獄へ  
追いやらんとしている。26日夜の釜  
周辺のアオカン者は二七二名にも  
ほり、去年の同じ日に比べ倍にもな  
っている。

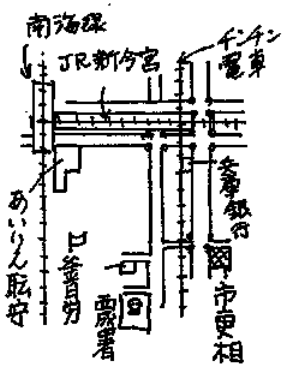
多くの日産の仲間や支援の仲  
間が25日から医療センター下で  
夜更時から布団を敷き、青カン  
を予儀なくされた仲間の命を助  
衛し闘っている。夜10時からは  
釜周辺をパトロールし、弱って  
いる仲間を助け、青カンしてい  
る仲間を激励して回っている。  
聖楠班の仲間は、医療センタ  
ーで寝ている仲間を二晩中防  
衛し闘い抜いている。

仲間の命を仲間自身の手で  
守りながら、29、30日の臨  
泊押し込め闘争を闘いぬ  
う。(ウラにツク)

期間 12月29日、30日

受け付時間：あさ じ〜ひる 2じ

場所：大阪市立更生相談所(市更相)



## あすから臨泊の受け付けが始まるぞ 希望者全員入所にむけ闘おう!

文化班より 1月2日に予定されていた新谷のり子さんの歌は3日になりました。

# 仲間の声

医療相談を受け、待っていた仲間に聞きました。

Aさんは金に采て11年、40才です。二十八才の頃からアルコール依存で入、退院をくり返、自暴自棄に一年同居しました。その後又酒をのみ入院し、出て来た時は親はびこみに物販して

## 警備班の仲間から

私は釜にきて今年で七年目、年は40才です。これまでデモには五回くらい参加しましたが、警備班に入ってやるのは二年目です。何年もやっていけるのを思ながら自分もやりたいと思いい、自分もやらせてもらえますか」と組合の仲間とやり始めました。なんでやろうと思っただけ

音信不通になり面成で生活をすすめるようになりました。

今医療相談に采たのは、十二月二〇日に草津にあるA建設の所長に、私と酒をのみをきこいたため、田んぼのりのめんに突き落され、腰を強打し西足をすりむいたため仕事ができなくなっただからです。飯場に入った

## 皆で助け合わないと

言う、毎年、今年は何人死んだ、向んヶがそしたというのを聞いて、皆で助け合わないと思いいやり出しました。

今年の末くらいから仕事は減って、現金では行けなくなり、出張や飯場に入ると月二〇日くらいは事に出ていませ。

時、十日くらいは酒をのまずに仕事ができるのですが、金をもらうとどうしても酒をやめられません。

最近では顔づけが少なくなると現金には行けません。アフレが厳しくなると衣食住に困まってしまします。この面成では全ても金に必要だからです。

## ガンペロウ

寒い時期にまことにこくううさんです。体に健康に一人一人気をつけてかんぱりましよ。その他、年明けに酒をのみすぎてトラスルものもでてくると思いいますので、十分しつかりと気をつけてみまきりしませよ。ホクは大変寒いときですかけいはいはんをかんぱります。

## 医療パトロール報告

南まわり	66名
山玉方面	27名
北まわり	30名
センター	162名
計	265名

## 12月27日医療相談の結果

相談者	19人	—	入院	0人
受診者	16人		入療	4人
更相行	15人		法外 (現金・車)	7人
			却下	4人
			再面	2人

アフレの厳しい中で生きていくために、音入っていた酒会に入るのと、とに角友だちをつくっていくことか必要だと思いいます。



# 日えつとう '91.12.29 No.6

釜ヶ崎越冬闘争実行委員会  
〒557 大阪市西成区萩之茶屋2丁目5-23  
釜ヶ崎解放会館2階  
電話 06-632-4273

## 臨泊斗争をやりぬくぞ!

市は希望者全員入所させろ!  
臨泊の収容施設化も許さんぞ!

仲間たちノオレたちは、この正月のアフレ期に一人の野にれ死にをせざるやないものとして二十五日越冬斗争に突入した。行政はオレたちにアフレを強制し、それに対し現在では南港に臨時宿泊所を設けお茶をにっこしている。

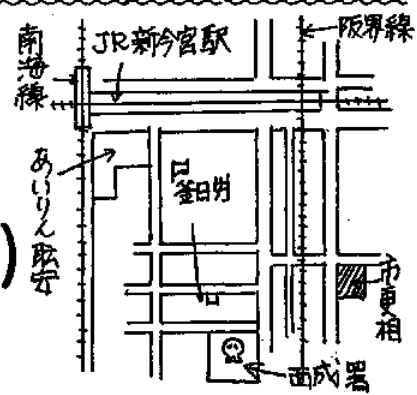
この臨時宿泊所は、かつての一時保護所に比して、周辺に有し鉄線をはりめぐらせ、周囲に検動隊を配備し、体育会系の学生をガードマンとして雇い入れオレたちを正月中見はるところなのだ。出入りする時も入念な持物検査をする臨泊は、オレたちちが正月らしい暮しを過ごせる場所ではない。しかも、オレたちにとつて、冬の寒い夜空の下に野宿を予儀なくされることは、命にかなわることだ。とは到底臨泊に入り命を争つていかなければならない。まず臨泊に入ることから先決だ。

大阪市は、毎年千三百人入れる臨時宿泊所を設けながら、入所を希望する仲間に向むかんだと難くせをつけ足切りをしてくる。そもそもそんな権利がやつらにあるのか。ワシら白産をいつてもすきな時に首を切れる労働力として使うだけ使っておいて、仕事がない時に知くんふりを決めることはできないはずだ。希望する仲間を全員入所させろ!

仲間たちノアフレが厳しくなってきた今越冬の中で、臨泊に入ることと当然の権利として、入所を申し込もうノとして市の不当な足切りも徹底して弾劾し闘い抜こうノ!

☆臨泊受付後裏口で越冬実のメンバーが受付の実態調査を行っています。御協力お願いします。

- 臨泊期間 ☆ 12月29日、30日
- 臨泊時間 ☆ あた90"~ひる20"
- 臨泊受付場所 ☆ 大阪市立更生相談所(市更相)



釜ヶ崎越冬小史(14)

はじめに

この一年間バチンコや公営ギャンブルばかりやっていた様な気がする。暇な時に書き溜めておけば良かったのだが……とあれ、何とか20回越冬まで書いて、「小史」として自費出版したい。できれば、春・夏・秋冬の出来事と年表風にまとめて越冬史一年表―越冬史一年表という風に、釜ヶ崎斗争史入門編という様なものになりたい、と夢は大きく、酒でとろけ出した頭と胃袋にムチ打って書き始める事にする。(へなよ越冬10回目までは「第21回釜ヶ崎越冬斗争報告集」700円を見て下さい。全日労務事務所にて販売)

四月九日、春斗のさなか箱垣派三名を解任。  
四月十四日、タコ部屋「西播」の西の、西播、東の、矢追といわれた悪名高いタコ部屋の解体、追放に成功。箱垣派との分岐から独自路線を提唱。力の再構築さからとる。この斗いは山谷等の寄せ場の仲間に大きな衝撃を与え、後に日雇全協結成の原動力となった。更には、西播斗争を前後して日賃金斗争、争議団が結成され、旧釜共斗の仲間も争議団に合流。涅槃、神明、中山などの大士人夫出たとの最前引き上げ、労務条件の向上などの斗いを貫徹。中山工務店とは一年越の斗いになった。この斗いは人夫出勢力に一定の

影響力をからとり、お年以降の春斗を有利に進める事になる。(しかし根本問題として労務組合の人夫出し、業者と資金交渉をもつという事は議論の分かれるところでもあると思う。)  
前書きが長くなったが、12月6、7日、モ千代カンパ83万円、12月19日、越冬斗争支援集會。  
12月25日越冬突入。医療センター前でのおとしき、四角公園(市民館前の公園)で一日三食のたき出し、医療班による医療センター前で医療相談、毎晩10時のパトロール等、各班の活動が開始される。  
私自身も遅ればせながら争議団に参加、今越冬は何年ぶりかで炊事班に参加した事を覚えて

12/28夜 医療パトロール報告

北まわり	25名	※ そのほか、日本橋
南まわり	60名	四天王寺・天主寺駅
山王方面	24名	などもまわりました。
センター	211名	※ 急な冷えこみで
計	320名	センター前で野宿する仲間が増え、フンの数がピンチです。フンのカンパの集中を!

12月28日、医療相談の件が

相談者	37名
受診者	28名
更相行	19名
入院	2名
入寮	4名
法外	10名
却下	3名
再面	7名

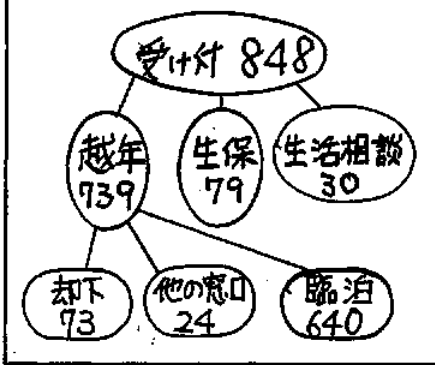
(押込) 7名  
か出てきた事(原因) (入寮)に続く

いる。

12月28日、アオカン者数は265名に達するも、29日臨泊受け付けが始り、30日168名、1月5日88名と減少。(年を越して仕事か出てきた事(原因) (入寮)に続く)

# 不当却下糾弾！ 殺人行政糾弾！ 臨泊希望者全員入所を

29日臨泊受け付け結果



〈年令別傾向〉

80代	2人	
70代	27人	4%
60代	181人	29%
50代	255人	41%
40代	107人	17%
30代	22人	4%
20代	20人	4%
不明		5%

釜ヶ崎の仲間たち、昨日は臨泊受け付け  
一日目だった。  
寒いという冬風が吹きすさぶ中、セ  
ンターに行くとは昨年同日とは全く異  
なるセンター内の風景だった。人もバ  
ラバラとしかいないセンター内で情宣  
を行ない、仲間たちに臨泊に行くよう  
訴えた。  
今年の受け付けの結果は左の図のと  
おりである。50代、60代と高齢化傾向  
がはっきりしており、一割弱の却下と  
はいえ、却下の基準はあいまい変わらず  
デタラメである。  
却下理由で最も多く占めているのが年

か若い、次に酒をのんでいるであった。年か若いと断れ  
られた仲間の中には、47才、45才という人もいた。20代  
30代の人か一方で入所できているのに、彼らか若いとは  
これ如何に、若くて健康だから却下する  
というのは、彼らに青カンして体をボロ  
ボロにしてから来いと言っている  
のだ。こんなことかゆるせるのか？  
仲間たち、大阪市は、今年仕  
事か少いことを否も承知の上で  
一割弱の仲間を寒風吹きすさぶ  
中にアオセンを強制した。この  
日雇殺しの殺人行政をワシらは  
絶対に許すことはできない。全  
員入所をかちとるまで闘おう。

場所：大阪市立更生相談所（市更相）

時間：あさ9じ～ひる2じ（受け付けは6じ頃から始まっている）

## 今日30日も臨泊受け付けあるぞ！

臨泊に入れた仲間、華香さんには仲間に向く

釜に来て22年の先輩だった。今  
まは臨泊には三回程入ったこと  
があるが、内容はママママであ  
るといふことだった。

最近アツしなきがしくなっ  
てきて、以前月十日くらい休  
けていたのが現在では五日出  
れば良い方だそうだ。朝早く現

〈ケイビに参加する仲間から〉

越冬斗争には3年前頃からワ  
ッショイ平モについて行ってた  
だけで斗争内容は全く知らな  
かった。それが、だんだん仕事  
が減り、ケタオチの仕事にでも  
出て冬を越そうと思っていたこ  
ろ、仲間が引っぱられケイビ  
に入った。越冬に参加して、自  
分としてやっとして換はない。

金の車に乗るが、首をつかま  
れて引まづり出されてしまう。

来生臨泊から出てきたら、い  
よいよヤカーでも引かなけれ  
ばと覚悟を決めている。

臨泊を拒否をされた仲間は、  
4才。釜に来て6年目。拒否さ  
れた理由は、若くて体が丈夫だ  
からかめたと拒わられた。この

自分のためにもなると思う。と  
に角いような人と接触し、仲間  
を増やしていくことで、これか  
らのアツしのきつい時期を乗り  
切れるだろう。

仕事は、9月から現在までに  
約1ヶ月くらい出た。何せ読み  
書きが得意なから事務仕事に  
はつけない。仕事も減って一番  
困るのは部屋がなくて着カンセ

仲間は最近仕事が少なくなった  
ため、友だちと野宿を強ら  
れている。

ワシらはそんなムキヤな話  
はない。もう一度並んで申し入  
れてみようと思得し並んでもら  
う。

年若く体が丈夫だからア  
カンをしようとはほとんどない話  
だ。こんな役人を絶対に許さ

さるをえないことだ。

そこで、マッサージの技術を  
もっているの、その宣伝をや  
りてもらえれば...

半身不遂の人にも通じたこ  
ともあるマッサージ師です。  
1回1時間20分くらいで  
千五百円〜二千円  
体の調子が悪くて困って  
いる仲間はケイビ班まで。

### パトロール報告

南まわり	60名
山王方面	22名
北まわり	33名
センター	88名
三角公園	110名
計	313名

### 12月29日 医療相談

△	相談者	27名
△△	相談者	24名
△△△	相談者	19名
△△△△	入院	4名
△△△△△	入寮	1名
△△△△△△	臨泊	10名
△△△△△△△	却下	0名

# ただやりや斗争み込み押し泊り

## 30日臨泊斗争の結果

受け付総数 428		
臨泊 340	生活保フ 52	生活相談 36
入所 301	他の窓口 6	却下 33

29日、30日の臨泊押し込み斗争の結果、941名の仲間を入所させることになりました。却下は106名だった。これは昨年暴動後の越冬で649名の入所と27名の却下に比べ、アフレな厳しくなった状況を明確に示している。(ウラはつづく)

## 31日と医療センター下の医療相談を通して臨泊に入れるぞ

文化、体育班より  
いよいよ年末もおし寄せの、寒さおまじい我々日雇労働者にとって、苦しみの時となってきました。しかし、我々越冬寒ではその苦しみ、つらさをだまさないでフツがえそうという事で、三十一日午後三時公園を拠点にして、労働者と各支援の仲間との交流を楽しく深めようと、ノド自慢大会、スポーツ等の行事を予定しています。

□ 12月31日 □  
夕方6時より、寒さを吹き飛ばし紅白歌合戦に対抗して、三角公園にひびきわたる大声で、仲間のノドを自慢する大会。  
□ 1月1日 □  
昼より緊急直した体をみんなまでホケそうと、スポーツやウォーキングをやり、仲間と一体となったチームワークを作りたい。  
夕方5時頃からは若い仲間が、気分

# 今日夕方からのもど自慢大会、三角公園

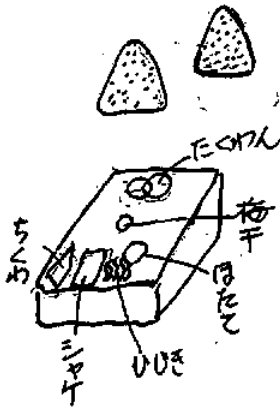
をほぐし越冬をやりぬこうと、励げまじにミュージックをやってくださいます。  
□ 1月2日 □  
朝の時間より、仲間の体カパワーを發揮し、モチツギをやりまます。  
夜は1日と同じような倦みです。  
□ 1月3日 □  
例年、外のグラウンドを借りてソフトホールをやっていたが、今回は皆んなお楽しく参加できる様にと、公園内でハンドソフトホール大会をやりまます。  
夜は5時頃より、西条りでおなじの新谷のり子さん、釜ヶ崎の話をお聞き勇気付けガンバッテ下さい、と新井英一さんお盆に来て歌を唄ってくださいます。

すいじ班より

12月25日夜、越冬突入集会を皮切りに斗いは始った。

私たちすいじ班は、全国からよせられた、カンパ物資と越冬に必要な物資をよりよきにたくさん仲間へ食べてもらえようように工夫して、弁当・おにぎりなどを担当している班です。

の仲間や、全国から支援に来てくれる越冬斗争に参加している仲間と交流を深め、視野を広げ、釜ヶ崎労働者の団結の幅を大きくしていこうではありませんか!!



りです。

25日	弁当	五〇食
	カレーうどん	一五〇食
26日	弁当	二四〇食
27日	弁当	二八〇食
	弁当	一一〇食
28日	パドル用弁当	二五〇食
	みそ汁	一〇〇杯
29日	弁当	三〇〇食
	公園たき火	二七〇食

北海道より、ホタテ貝、タラ子  
シヤケ、米の〃秋田こまろ、を差

(オモテから)

アプレの厳しい情勢を知らなから大阪市は今年も去年と同規模の臨時宿泊をつくり、千名を大中に上回る希望者な来たために100名を越す仲間理由にならない理由をこじつけ野宿を強制したのだ。

47才や4才の幼き人に対し、年か若く体か丈夫だからオマエはアオカンしろと命じた大阪市の役人共をワシらは絶対に許せん。正に

し入れにきてくれた支援の仲間、

滋賀の仲間からのヤサイなどなど、たくさん仲間の〃カ〃で越冬斗争は行なわれていきます。

全国の支援の仲間と心を一つにし、一人たりともたれ死する日雇労働者を出さない〃斗いは、ふつうのあたり前の斗いだと思っ

ています。  
斗う仲間たち。若い学生の支援

ワシらに野に氷死にを強制している張本人の一人が国や地方自治体であることも鮮明にした。暴動後の自分らに都合のいい時には27名の却下しなかつたのに今年100名以上もの仲間を裏切りますよの中にたき出したのだ。

このような日雇殺しに対しやりかえす斗いと仲間の命を守りきる斗きやりぬこう。

12月30日医療相談のけか

相談者	31名	—	入院	3名
相談相	26名		入寮	1名
相受更	16名		臨泊	12名
			却下	0

人民パトロールに参加を!

29日から人民パトロールが開始された。医療パトロールとどう違うのだらう。人民パトロールの意義は、野宿を強制されている仲間への激励と同時に、彼らを襲撃してくるシノヤ等に対する反撃する力として、大切な斗いです。ぜひ仲間の参加を!

# 臨泊は保安施設か?!

## 臨泊監視団からの報告

南港の臨時宿泊所はバス停に於いて10分、そしてニュー  
トラムに乗って又地下鉄に乗らなければ釜にも乗れない、  
近くて遠い所であった。

今までと違う所は機動隊の姿が見えないのと、有線放送  
がなくなっている所だ。しかし回りはトタンのへいひかこ  
まれていて中が全く見えない形になっている。入り口を入  
ればすぐ駐屯場になっていてそこにも又へいひか。何か見ら  
れたくない、見せたくないものがあるかのような。  
周辺を散歩している仲間が20人程いた。中の様子とかを  
聞くといよよく若そくれた。

メシは飯場よりマシだが、米が古いのかムフとするよう  
なにおいかする。メシ以外にみかんが出ただけ。タムコは  
わかばか二日に一箱か？仲間は一様に、去年よりメシと人  
な釣いと感想を述べた。そして、物を買いに行くのに30分  
も歩かないと行けないことに不満をもらしていた。  
正に人里はなれた收容施設なのだ。釜の仲間と分断され  
た臨泊を正月を過ぎ仲間との連絡もかち取るつもり。

### 越冬を支援す仲間たち

### 釜ヶ崎連帯会議

私達は医療連・大中実の仲間と共に、行政・ケ  
タオチ病院の「薬院化」政策に野蠻れ死攻撃を許さな  
い団結と共闘を目指して通年的に釜に居合わせています。  
厳寒の（冬）をテコとしたアヌレ地獄と野蠻れ死を  
撃つ斗いとして釜ヶ崎一流動的の下層労働者の置かれて  
いる現状にこれだけ肉薄しえるのかを運動実践の中で  
ふるいにかけるから医療連の任務を担っています。  
暴動として噴出した釜ヶ崎労働者の怒りの火柱の前  
に私達の能者さなどぶっ飛び、霞んでしまおうです  
が（実際私達の運動や斗いは暴動に乗り越えられまし  
私達はその後押しをしたにすぎない）、今一度暴動とし  
て噴出した流動的の下層労働者の怒りの根拠をつかみ、  
ここに依拠しながら運動の内実を更に豊かなものにし  
ていきたいと考えています。

アジア人労働者との合流をいかに実現していくのか  
90年代の課題として鋭く私達に問われています。

今日寄せ場には多くのアジア人労働者が、労働者  
として無権利状態に陥れられ、「三K労働」を強いら  
れています。この現実こそ日帝のアジア侵略の遺まじ  
さを物語っているといえます。「われわれは朝鮮人労働  
者・中国人労働者の中に労働者としての歴史的、普  
遍的な運命をみる」と看破した船本氏の思想に学び、  
歴史的かつ今日的にも排外主義を払拭してこれなか  
った「東の歴史」を痛舌に捉え返すと共に、民族排外  
主義の外国人労働者排斥運動の尖兵供を許さず、「非  
妥協の反差別斗争」として入管体制解体に立ちあがっ  
ている戦斗的在日朝鮮人との共同斗争を要し、アジア  
人労働者との階級的合流を寄せ場から釜ヶ崎労働者と  
共にからと、ていきたいと考えています。

**釜ヶ崎越冬小史(14)**

去年からの連載もので今越冬の「日刊」という6のつづきです。

一月五日、殺人行政糾弾、対市抗議行動。この年は大阪市に対する抗議・要求行動にとどまらず、建設大手資本に対する抗議行動を行った。長谷川工務店、大林組、手配師、人夫出しを使わずに釜ヶ崎に仕事を待ってこい／＼(この様な要求斗争がきかれなくなっ

てずいぶんたつなあ……)、純いとして六回に渡って連載された。「障害者」差別と闘う赤坂産別裁判糾弾斗争を中心とした記事。二つ目は、ヤ10回越冬の労働シリースに続く反弾圧シリース。反弾圧の心得である。これは、「釜ヶ崎反弾圧協議会」の署名によつて三回連載された。ハワラレたらまずどうすればよいのか、労働シリース同様くり返しく情宣して

て大成建設、大成は山村組の責任をとり半タコ暴力飯場を使うな海外侵略をやめろ／＼(山谷での山村組暴力飯場との闘いで山谷の仲間7名が不当逮捕された。この闘いに釜でも山谷に連帯し大成に抗議したのである。)

一月十日、南港臨泊女打ち切られた。仕事はホチホチだが、センター

相談者	44人	}	入院	1人
受診者	38人		入院	2人
更相行	28人		臨泊	21人
			交通費支給	2人
			却下	2人

いく課題であります。10月暴動の時「ハワラレたら……」のピラミッドを提起したのですか、たった一回しかまけなかつたのが残念です。(次回をお楽しみに！)

**30日医療レポート報告**

南ほわり	51名
山王方面	26名
北ほわり	22名
センター	68名
三角公園	92名
合計	259名

**一日の催しもの**

午前中 衣料放出  
 昼 スポーツ  
 夜 バンド

**正月を三角公園で楽しもう!**

**12/31 医療相談**

正月三日も医療相談受け付けしています。

※ただし時間は 9:30~11:30までです!



# 釜もちつき大会 あさから三角公園で

## 臨泊監視団からの報告(その二)

去年、初めて臨泊へ面会に行ったときあまりに殺はつとした雰囲気を感じた。鉄務子の門、有利鉄線、大勢の警備員、そして南港にある殺風景な施設はまさしく収容所そのものでした。

今年は、目に見えるところでは、有利鉄線はなくなつたものの、かわりにトタンのへいみつくられ、外部から隔てられた印象は全く変わりません。中に入っている労働者は、布団やメシ、販賣の対応は少しくなっていると言っている。しかし、千人の人間が宿泊するにはあまりに窄まりで、入所している労働者は我慢ばかりしなければならぬ屈辱的な所です。

例えは、千人の労働者が入るには、小さいというか少なすぎる風呂、そして娯楽施設。大坂市に対して、無条件、全額入所や施設面の改善を求めると、臨泊がどうしてあるのかという根本問題への現実的な取り組みも必要ではないだろうか。ちなみに、一労働者の「釜焚は着斗で値上げを打ち取っているが、トヤ代の問題もなんとかするべきではないか」との声に示されているように思えます。

### 越冬を支援する仲間たち

私たち滋賀のメンバーは30日より又名、そして31日には5名を加え、合計7名が釜ヶ崎の越冬斗争に参加しています。私たちに滋賀の地において部落差別をはじめとする、あらゆる差別に反対する取り組みを行っています。が、元旦を釜ヶ崎の労働者と共に向かえようと大阪にやってきました。

炊事の手伝いや人民パトロール、医療パトロール、そして夜間の警備に参加しています。労働者から臨泊入所をめぐる行政の横着な対応ぶり(30日深夜に入所を断られ、南港から釜まで歩いて帰ってきたという労働者かいた)を聞いたり、アオカンを強制されてくる労働者の実態を見るにつけ、怒りを覚えると同時に、今年の越冬斗争の厳しさを感ずります。

短期間ですが、一人の労働者をもつたれ死にさせることのないよう共に闘うべきだと思います。

湖南狭山を闘う会

81年2月23日、タコ部屋でのリンチ殺人事件(被害者、三浦伸博)の土曜夜、(1)死体は人夫出し(2)中次組女舎の労働者を日更約で雇い、暴力で強制的に動かした。そして逃げて行った(3)名を殺し南港に捨てたという事件である。中次組ばかりでなく、仕事の減少で人夫出し、手配師の権限が自立し、釜ヶ崎でも八千円程度を出しても、六千五百円の最低賃金を獲得できる。

『不況長期化の中で、冬の時代』と云える80年代の激動を模索する、全国若者連帯の運動潮流の路線的統合を計っているべく、全国若者連帯会(釜日・争議団、釜日労、釜日労、山谷争議団の四団体)が結成され、12月を心のふるろ。

12月4日、第一回越冬討論会。熱い団結で冬地獄を憂えて、スローガンに釜ヶ崎争議団も初めて越冬に参加。  
12月24日、越冬総決起集会  
・アフレコ「門前死」(警察と闘争)  
・牛子コ、暴力飯場退散

92.1.1 医療相談けっか

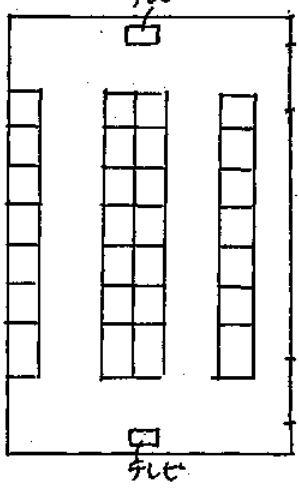
相談者 20名  
受診者 19名  
入院 1名  
※市更相休みのため  
入寮、却下なし

91.12.31 医療パトロールの報告

南まわり 55名  
北まわり 25名  
センター 39名  
三角公園 115名

臨泊 元旦の食事  
朝弁当 カンパをどうに  
昼弁当 かっぱえんせん  
夜弁当 みかんが出るらしい。

南港アフレコ内  
パトは二段



刑罰改悪、保釈処分制限国会工程阻止  
・労組の産別化と対抗する全国若者連帯の総決起  
12月25日、越冬突入。期間は1月15日まで。28日、医療センターでのアスカン者三人の人数越す。昨年の同時期より倍近く多い。  
29、30日、南港臨泊受付。南港一五八二名、自衛隊四〇一名、荒川署30名、計二〇一三名。  
82年1月7日、八尾建設(名古屋)に對する緊急抗議行動が全国若者連帯の統一行動で斗われた。八尾は資金を取りに行つた労働者をスコップを振り回して追い返す暴力業者である。また釜では60名が勝利者に乗り込み、京都府美山町の現場にむかい、元請工二千カと大家団交を持ち、下請八起を切る事を確約させる。又、山香、香の仲間も東水二千カの下請、エタニット本社に押しかけ、八起を切るように要求。更には接島の仲間が、名古屋のユニニカ・エタニットに押しかけた。

1月10日、山谷越冬斗争の報告が入る。4日より都庁前と、大井坂前(釜の臨泊にあたる)で4名がハンスト。「労組相談者で山

谷争議団が収容所に出入りする事を許可し、の権利を取りつくる。  
13日、大阪取手配の暴力業者、藤原組とむかい、食事中の飯場を二気に閉店し、オヤジを呼び出して団交。労働者に対する暴力の撤廃と、未払い資金の積算取手配をやめセンター求人にする事を確約させた。

押しかけ争議が中心ではあつたが、この連帯斗争は越冬定に緊縮感と与え、越冬冬闘争は連帯され、毎日読むのが楽しくなつた。たのしみである。作者は例の有村民ではない。  
一方、釜日から分れた橋本氏は、釜ヶ崎地域合同労組を結成し、独自に越冬斗争を取り組んでいる。



医療場より

越冬医療相談中間報告

12月26日から昨日までの相談者は二〇二名ですが、入院者は少なく去年の3分の1の17名です。高令化と急激な仕事量の落ち込みにより、すでに多くの仲間がたれ死んでいるからだ。又東日本の仲間が多いのも今越冬の特徴で、全国的な不況のために若い20代の人も目立つようになつてきた。

医療相談は今日もやります。朝9時半〜11時半まで医療センター前に集まって下さい。

# 新谷のり子、新井英一さん来釜

## 本日、夕方三角公園でジョイントコンサート

### 緊急アピール

昨日もちつき大会は大盛況よ  
うで、仲間のついたもちを一口  
食べようと長蛇の列が並んだ。  
正月の祭もあすは最後です。登  
は三角公園でハンドソフト、夕  
方からは歌手の新谷のり子さん  
そして新井英一さんが、厳しい  
冬の越冬を闘っている釜の仲  
間をばけましたに来てくれます。  
山谷の越冬を闘っている仲  
間から報告がありました。  
2日午前の時30分、玉照公  
園で越冬を闘っている仲間  
に対し、右ヨクファシスト曰本國  
舞会金町一家が、ランドクルー  
サで3回にわたって慰勞をもち  
ろんだ。山谷の仲間さんさまこ  
れに反響をもち、ワッショイデモ  
でこ水を撃退した。

### 越冬を支援する仲間たち

わてらと釜ヶ崎は、今回もパト  
ロールをしています。  
わたしらは、女と男、子持ちの  
集まりです。釜ヶ崎に住んでいた  
り、釜で仕事をしていたり、いろ  
んな時にここに集まっています。  
パトロールには、ある女性は、  
子どもと連れ合いさんさみっぴり  
込んで、わりわりとやってきました。  
部屋に子どもを残して、時間を氣  
にしながらかけつける女性たちも  
います。又、越冬がしたくて忙し  
い年の瀬の仕事をやくりりして出  
てくる女もいました。神経痛をか  
かてる女性、そしていつものよ  
うに40分自乗車をとばしてくる男  
と、さまざまです。私もオの末  
娘の泣き叫びの聲に送られて、重  
い気持ちで家を出します。( )  
みんなの顔を見るとホッとこころ  
持ちは軽くなるのですか……)

パトロールで歩きながら、道の  
端で一枚の布団にくるまって寝て  
いるひとと向き合つ時、そのすぐ  
さに何の言葉も気持ちも出せない  
私は、立ち止まるしかないので  
す。それでも何とか連らなりたく  
て、パトロールにいそいそと出か  
けるわたしらです。  
パトロールの時間は短かいので  
すが、医療センターの下で布団を  
敷く人やパトロールに出る人らと  
いき合ったりする中で、お互いが  
いろんな力やエネルギーを溶わら  
せているのを感じ、勇気が湧いて  
きます。  
新しい年が明けました。  
わたしら気持ちわけ合いなから  
今年もまたしつこくまきこいきた  
い、  
わてらと  
釜ヶ崎



釜ヶ崎越冬小史(16)

82年5月28日、日露全結成。四大寄せ場の大団結が勝ちとられたが、現性的マスシが続き、4、6月、天王寺公園などで数百名がアオカンをする。

8月31日、不況苦に追い打ちをかける様に一方的に就労申告書廃止。11月4日、撤回し身でも名が逮捕処分される。

又、労働者の高齢化が加速、この年は平均47才、毎年1才ずつ上昇。不況下の高齢化はアオカンの層の増大につながり、更には、乱立した支援金融の利用者が白手帳を奪われる事も要因の一つになっている。

12月26日、第13回越冬突入。28日、医療センター前の布田の中で一名死亡。48才の若手の労働者だった。

29、30日臨時受付けは、2日間で22名を入れたが、却下は75名にのぼった。30日、医療班を中心に自主診療パトロールを決定、医師2名を同行、三角公園と認認通りセンター裏入口のアオカンの診療を行う。

31日、医療センター前で死亡した通称カワカキさんは、紹介状を持って市重相に入院を頼みに行っていた事がわかった。民生局の冷然な却下処分の結果が48才の死である。

83年1月1日、医療班は、市重相が休みの

82年～83年は越冬冬

為、直接自衛隊に入院入寮が必要な病弱、高齢者を連れにいった。民生局は金銭を前払いし、西成署を前面に出して弾圧。医療班越冬突入はワカキさんの一件も、ともに抗議して、座り込みを行う。

5日第1回釜ヶ崎保安処分委員会、マール中保安処分、使用捨て労働者殺しを許すな、6日、第2回自主診療パト、12日、第2回保安処分集会。

15日、年明けから機調に仕事が出て来たこともあり、春期斗争へをアピールしては越冬は終る。今越冬は医療班での闘いが主軸となったが、多岐面での結合の方向性として退院者・高齢者・障害者、のための軽作業確保の闘いも提起された。平均年齢が55歳を越した現在こそ、その闘いの復権が必要なのではないでしょうか。

92年1月1日 医療パトロール報告

北まわり	30名
山王方面	23名
南まわり	40名
センター	53名
三角公園	130名
計	276名

最後に、日刊えっこの連載記事として、釜ヶ崎越冬小史があります。

91年8、1の第一次暴動から92年第5回越冬まで18回に渡って連載。92年の第一回夏祭りでは、大日本正義団と横山組が取り込みをかけてきたが、釜ヶ崎は夏祭りを防衛し、ヤー公どもにやり返した闘いが紹介されています。先述したちの血を流した闘いの結果、ヤー公が去り出せたい力関係を築き上げたのである。集まりきつちりと三角公園を防衛しよう。

〈医療班より〉

昨日相談を始めたころは、相談者10名ほどで非常に少なかった。三角公園で10時半から11時まで医療相談に呼びかけたところ、多くの相談者がおかず総相談者数は33名にもなった。このようなことはもともと行政の仕事である。しかし実際には多くの仲間が権利があるにもかかわらず知らず知らずでない。行政の手ぬきを許さず、断呼として闘おう。

仲間の句

炊き出しの 列とたえずに 年明ける  
一九九二、一月一日 十二階の住人

92.1.2 医療相談のけっか

相談者	33名
受診者	26名
入院	2名

# よくもオレタチをアオカンさせてくれたナ!! 1.4対市抗議斗争起る

朝7じセンター集会 - 8:10 三角公園に向けデモ

8じ40分、三角公園から大阪市役所に向けデモ出発

「あいらん取安は年輩者への仕事保障を行え！」

釜の仲間たち、9月初めのセンター集会に出席した。

今回の越冬は厳しさを予測された。大阪

市はそれを承知で、今年も去年と同規模の臨泊しか用意しなかった。(市は越冬前段で多数のアオカン者を狩り込んでいる。)

今回、南港臨泊千人をよまわす一二七六名が入所を希望した。これに対し、市は一三六名の仲間を冷酷にも却下し、寒空の下にたたき出した。

却下の内容たるや、47才のにも仕事は少なくアオカンしながら仕事に就いていた仲間にもまた若い、体が健康である」と却下したのだ。これは、体の丈夫な日雇はアオカンして体をホロクにしてから市吏相に果いと云ってこいたのだ。

又、臨泊に入れた仲間の話を聞くと、多くの年とった仲間は、早朝3時、4時に車にのっこいこも引きさすり降ろされるというのだ。釜に在る多くの年輩者は万博などの好景気からスーと釜の仕事と

している大失業者たちである。最も底辺で

低賃金、低労働条件下で働かされる、今の

「豊かな日本」を築きあげることができたのではないかノ

これら南港日雇労働者に対し、国や行政、大手建設独占は一

体何をしてきたのかノ

あいらん取安は、助けなくなった労働者から手帳を取り上げることができても、釜に仕事を持ってこることはできないのかノ

そして民生行政は、さういって労働行政の上に立って、使えなくなった労働力をテイよく処分し野たれ死をさせているのだ。

仲間たち、今越冬で31日から1月3日までの4日間、延べ約千二百名の仲間がこの釜ヶ崎周辺で野宿を強制された。

このことに対する仲間の怒りを大阪市に

対しおつけ、オトシマエをつけていこう

ではないか。

野宿一野たれ死に攻撃を許さず、殺人行政徹底糾弾ノ

抗議申し入れ書

我々釜ヶ崎労働者及び支援の仲間は大阪市の差別殺人行政に  
対し、ここに強く抗議するものである。

釜ヶ崎においては、パナール経済崩壊の影響を直接に受け、昨春秋以降  
の急激な仕事量の落ち込みにより、多くの釜ヶ崎労働者が福祉切り  
捨て、医療費切り下げのなか、野宿・野重水死に追い込まれている。

大阪市はどのように切羽詰まった状況を知りながら、なんらの根本  
的に対策もとらず、多くの野宿・野重水死を出し、責任は大きい。

例年の年末年始対策としての臨時宿泊所においても、全員の入所  
数より増やしたとはいえ、約二百名を越える仲間に対して、不当な  
却下で寒空に追い返された。その却下理由も、50歳の人の対して  
「まだ若い。働ける」等と、釜ヶ崎の実態を全く無視した不当なもの  
である。

誰にも生かす権利として、最低限の衣食住を保障されて当然である。  
しかし、大阪市は何ら根本的に対策を立てようとせず、多くの仲間を死  
に追いやってきた。我々は、無念のうちで死んでいった多くの仲間の思いに  
応え、ここに満腔の怒りをもって、抗議申し入れをする。ついでに以上の  
対策を行なえ。

記

- 一、釜ヶ崎内に臨時宿泊所を作出。
- 二、臨泊への入所希望者を全員受け入れ。
- 三、通年的な無料宿泊所を作出。
- 四、高齢者対策に誠実に取り組め。
- 五、軽作業の仕事をもつてこい。

以上。

'92年1月3日の医療相談結果

相談者	22名	※市更相休館のため
受診者	19名	入票、未外はなし
入院	0名	

'92年1月2日医療ハトロール報告

北まわり	36名	(16名)	( )は去年 の集計
南まわり	39名	(58名)	
山王方面	20名	(23名)	
センター	83名	(97名)	
三角公園	215名	(187名)	
計	393名	(381名)	

去年は臨泊入所者数が697名、今年は958名で極端な不況  
風が吹いている数字ではないか、年明けでも臨泊を出入る人も少ない  
ことから、臨泊職員は「よほど仕事がないんですか?」などと言っている。

一九九二年一月四日

オニニ回釜ヶ崎越冬実行委員会

代表 山田 史

全国日産労働組合 釜ヶ崎

釜ヶ崎日産労働組合

釜ヶ崎医療連絡



大阪市長殿  
大阪市民生局長殿

# 昨日、対市抗議デモを貫徹？

全この釜の仲間たち。昨日、一五〇名で対大阪市抗議斗争を闘い抜いた。

臨泊却下一三六名、三一日から一月三日まで近  
バ千二百名の野宿させられたことに断固抗議した。  
デモは数は少なかったが終始元氣よく「殺人行政  
糾弾」のたれ死に攻撃を許さんぞとシユ  
フレヒコールをあげ闘い抜いた。デモの最後に下  
の「抗議申し入れ書」を手渡し釜に帰り、炊き出  
しを食べた。

仲間たちノバブル経済の崩壊により、12月にな  
っても現金仕事が増えず、パツとしない正月だつ  
たと思う。今後も良い見通しはなく、厳しいアア  
しに対する対策が必要となつてくる。今一番困つ  
ているのは年ばいの仲間だろう。日雇いで働いて  
先の犠牲者か彼らだからだ。そういつた仲間たち  
を守り闘うことか日雇全体の権利や利益を守るこ  
とになる。大先輩を見殺しにして日雇の未来はな  
い。国や行政は、日雇から手帳を取り上げること  
はやつても、仕事を釜にもらつてこようとはしない。  
これが行政の真態なのだ。

日雇の命は日雇自身を守らなければならぬ。  
団結をかためアフレ地獄と対決しよう！

## 抗議申し入れ書

我々釜ヶ崎労働者及び支援の仲間は、大阪市の差別殺人行政に  
対し、ここに強く抗議するものである。

釜ヶ崎においてはバブル経済崩壊の影響を直接に受け、昨年初以降  
の急激な仕事量の落ち込みにより、多くの釜ヶ崎労働者が福祉切り  
捨て、医療費切り下げのほか、野宿・野重水死に遭い込まれている。  
大阪市は人の命に切羽詰った状況を知りながら、なんら行政本  
的に対策もとらず、多くの野宿・野重水死を出し負責任は大きい。

例年の年末年始対策としての臨時宿泊所においても、全回の入所  
数より増やらない、約二百名を越える仲間に対して、不当な  
却下で寒空に追い返す。その却下理由も、50歳の人に対して  
「まだ若い、働ける」等と釜ヶ崎の実態を全く無視した不当なもので  
ある。

誰よりも生きる権利として、最低限の衣食住を保障されて当然である。  
しかし、大阪市は何ら根本的に対策を立てようとせず、多くの仲間を死  
に追いやってきた。我々は、無念のうちに死んでいく多くの仲間の思いに  
応え、ここに満腹の怒りをもって、抗議申し入れをする。ついでに以上の  
対策を行なえ。

- 記
- 一、釜ヶ崎市内の臨時宿泊所を作水。
  - 二、臨泊への入所希望者を全員受け入れよう。
  - 三、通年約の無料宿泊所を作水。
  - 四、高齢者対策に誠実に取り組む。
  - 五、軽作業の仕事をもつてこい。

以上。

右抗議文も、オ22回釜ヶ崎越冬寒、釜ヶ崎日雇労働組合、  
釜ヶ崎医療連絡会議で大阪手に手渡した。

# 臨泊に面会に行つて

私は実は釜の越冬斗争に来て5年目に於て始めて臨泊に行つた。話で聞いたり、写真で見たりはしてたけど、行つてみて本当に「強制収容所」のやうだと思つた。面会した労働者の話を聞いても、どうも良いものとは思えない。体を守るのがオーナーなのに、朝食がカツラーメンでは体に良くない。ストーブもあまり役に

## 越冬を支援する仲間たち

釜の火まつりから二年たつて、越冬斗争に住みつくことになった。越冬もこれで二回目。ちやうど今年も越冬がやうにやうに釜はだんだんとするのだから、かんじがあつて、私自身もだんだんとてゐる。(正月やからかな?) 暴動は一緒に来ている「ゆかいな仲間たち」もこの一年の納り変わりの中で「ゆかいな仲間たち」となり、釜に身を寄せてゆくものしんどさと、日々をまきつけてゆくしんどさに顔きつてきたこととあつた。けれど一年たつて、又ほうぼうから集まつてくる仲間たちとの又々の再会を喜びながら、話したいことの何分の一

### ゆかいな仲間たち

(去年暴動を契機に釜に来た若者です)

立つてないみたいだし、お役所仕事はあかんやー、と思つた。

大体、南老なんか釜から遠いし、臨泊のまわりには何にもない。あるのは倉庫だけ。そんなところで二重の外出キエツクをするのはおかしい。心理的なプレッシャーにしているんだらう。

アオカンしてるよりは臨泊に入つてる方がマシだらう。ただ、も

ろ話ができないうち、釜に静産を溜りて、東京の仕事と釜の中からの仕事へと出ていく半々の生活をこなしてきて、釜への想いが深まる度に言葉が少なくなつてこない自分におどろいてしまふ。それは「はなしたくない」とか「はなせない」とかいふ前に、だらーとした感覚があつてことはか身体から出てこないんだな。話したいという気持ちの高ぶりが身体に無理を強いてしまふ。そんなんじやいけないだけになんか思ふ心と、けれど身体がついていかない自分。今までは人との関係をあせりながら生きてきたが、た自分か、釜のペースにはまり

っと中身をきつちりさせていかなければならないと思ふ。

大阪市へのお礼参りをやつて、行政の中身を追及すると共に、私達支援の力も大きくしていかなければならないと痛感しました。



ながら、少しずつ話してゆけるやうにならぬはうれしい。

釜の中をゆらゆらしているだけで、納りゆく人々の表情にホッとしている自分がある。そんな自分を釜のまじりに冬に向かわせながら、ゆったりと生きてゆきたいなあと思ふ。そんなかんじで越冬してゆこう。



## '92年1.4 医療相談報告

相談者	24名
受診者	22名
更相行	14名
入院	2名
入寮	4名
法外	5名
却下	2名
再面	1名

## '92年1.3

### 医療ハトロールの報告

北山	29名
南	51名
山	21名
セ	71名
三	145名
計	317名





# 4日現在300名の仲間が野宿を 越冬闘争を最後までやり抜こう

仲間たち。今年は4日夜パトロールを回った仲間からの報告によると、釜ヶ崎にはまだ三百名もの仲間が野宿させられている。

5日朝には約60台の契約の車が来ており、野宿者も大分減少するだろう。人夫出し業者の話によると、今年の正月は飯場に残る人が多かったそうだ。臨泊も例年、年明けになると帰って来い人が多かったのに今年は少い、という発言から仲間自身がアフレに身構えていることなうかがえる。臨泊に並んだ労働者や、入所している仲間聞いても、仕事は減少している影響をもうに受けている。年とって仲間は車に乗っていても車から引きずり降されるし、又仕事に行ける仲間でも、現金から契約主導に切りかえたりしている。

アフレが厳しくなっって一番困ることは……と聞くところの仲間からドヤ代に追いまくられることと言う。金がなくメシが食えないことより住むところなくなるのとが一番つらい。香カンをしたら体もきつく仕事に行けなくなるからだ。年をとればその厳しさは幾倍にもなるだろう。

そして、こういったアフレに対処していくためどうしていけば、という意向に対して、とにかく仲間をつくらなければという答えが多かった。確かに、身より

もなくただ一人で生活していくより、もしものことを考えれば仲間をつくることが一番大切なことかむしろない。

ワシらは年一つで金をかせいで生きていく。健康をくずしたり、助けなくなったりした時に、助けにくれる仲間は一番大切だ。仲間どうし助け合いアフレをしのいでいくと同時に、ワシらもアフレを脅かす脅威を明らかにし、追っつかれぬよう必要だ。



落とし物 793

白手帳  
 O.N.S 41284  
 O.T.S 43745  
 脱走にとげておまかせすのどりに行くこと下さい。

## 1月4日 医療パトロール報告

北まわり	39名 (19)
南まわり	118名 (89)
山王方面	23名 (11)
センター	116名 (68)
計	296名 (187)

( )内は昨年の数です。

83年2月、横浜寿町周辺で中、高生らによるアオカン者襲撃、虐殺事件が発生。3名が死亡、13名が重傷を負う。「横浜事件」としてマスコミが大きく報道し社会問題となる。大阪においても襲撃や警官による写真、指紋の強制が明らかになる。(7月、これを機に釜ヶ崎差別と闘う連絡会が結成される。)

しかし日雇層に向けられた敵の攻撃はこれにとどまらなかった。11月3日、国務会金町一家西戸組による山谷争議団への武装襲撃。かけつけた全協各支部の仲間と共に反撃を準備するも、4日22名のデッチ上げ逮捕。浅草警察公然とヤクザを防衛し、以降権力に守られた金町一家との苦しい闘いを強いられる事になる。

12月9日、市民館で越冬討論会。はやくも、日刊えつとうに準備号が出され、越冬への結集と、山谷現地派遣団への参加が呼びかけられる。

越冬スローガン。寄せ場―全労働者の連帯を右傾化を撃て

・アフレ地獄に特出し(特別公共事業の事。山谷ではすでに実施)を出せ  
・日雇健康廃止を許すな  
・アオカンする仲間への差別虐殺を許す  
・右翼暴力団と闘う山谷と連帯しよう  
25日、5時フロン上げ、8時医療相談と、定着化したパターンで越冬が始まる。

10名以上の山谷派遣、3名の起訴と人手不足だったため、学生支援が少なかったのはよかった。  
29、30日、臨泊受け付け。収容人員ハ  
五〇名に縮少、列に並んだ半数以上が追  
い返され、30日のセンター前アオカン者  
は三九五名に達する。(西成区内で12月  
中の行跡病死25名)

翌4年1月3日、センター前アオカン者  
四七六名。越冬最高の人数を記録する。  
4日、大阪府、市への抗議行動。中曾  
根内閣の「行革」に福祉切り捨てを許す  
な「物の福祉から心の福祉へ」と  
タワゴを言い臨泊を縮少した事を糾弾  
ある。

同日、在日労、名古屋炊き出しの会等3  
名が不退去罪で逮捕。名古屋市役所での臨  
泊の増員要求への弾圧である。

4日以降は事はホチホチ。アオカン者も  
少しずつ減る。

6日からの回、新春映画大会と学習会。  
「釜ヶ崎差別と闘う連絡会」による横浜事  
件とその後の報告、被差別大衆との団結の  
訴えなど。17日「日刊えつとう」最終号で  
悪徳飯場追放から奮闘へ、モアビル。  
14回越冬の反省点として、山谷前線に  
対し、釜ヶ崎後の守り、というお留番越  
冬に解消する傾向を指摘。最高五百人近  
いアオカン者が結集したからも、福祉切り  
捨てに臨泊縮少に有効な反撃を組織できず。  
今越冬獲得目標①労働者の主体的大衆的結集  
による越冬、代行主義の克服②反撃の越冬  
③闘う労働者の日常拠点の形成、困難層の  
結果と自立の形成の三点で、具体的方針が  
なかった事などがある。一総括(末)より

# 又ツッシュ来阪に反対しよう!

あさ8じ10分センター→三角公園  
8じ50分三角公園→なんば

主催:釜ヶ崎日雇労働組合

全ての釜の仲間たち! 今日、アメリカ大統領選挙  
シユが来日する。

今回のスツッシュの来日の目的は、「地球規模での  
協力のための日米盟約」(東京宣言)「仮称」と称す  
るものを通結し、世界的規模に基づいたアジア太平

洋や安全保障体制づくりをせんか

ためである。日本は米国の運命を共

にし、アジアの中軸となって、アジ

ア太平洋地域の人民の支配を行わん

と今、PKO結果を何とか国会

を通し、国民合意の下にアジ

アへと進出をたくらんている。

戦争に向うスツッシュ来日に反

対しよう。

## '92年1月5日 医療パロールの報告

北まわり	23名	(21)
南まわり	123名	(50)
山王方面	30名	(10)
センター	89名	(77)
計	265名	(158)

※( )内は去年の数

## 病院に面会に行ってきたぞ! (医療班より)

広崎(泉南郡阪南町)と神田(和歌山市)の両結核病  
院に面会して来た。広崎は患者高い超ケタオチ病院で、  
その外客たるヤミ近くの鉄柵で正門を固め、詰所のか  
ードマンはサンクラスで「オレレ」を連発し、タバコをふ  
かしながら対応だった。

そのカードマンは、「今日は日曜日なので誰もない。オレらか(事務員等に)取りついたら、あとで(オ  
レらの)死活問題になるので取りつぎもできない」との  
返事だった。15分ほどおめた後帰ったが、広崎にはほと  
んど「大中」から患者が送られており、こういった病院  
ではよけいに病状が悪化するし、面会もままならない。

「大中」には、「広崎へは送るな/單身者はロクに面会  
もできないやないか」と強く重ねて訴えたい。

神田病院では一人不明者があった。面会できたのは一  
人だけ。ケースワークがしっかりしておらず、面会した  
患者さんは、去年12月30日に入院しているにもかかわら  
ず、スリッパもひげそりも支給されず、足元は安全靴の  
まま、ヒゲは伸び放題という状態だった。本人には、「  
今度ケースワーカーが来たとき、自分の希望をほっきり  
訴えるように伝えた。詰所の看護婦にもその旨抗議し  
ておいた。」  
(ウラにフック)

# 釜ヶ崎越冬小史(18)

84、85年 才15回越冬

84年春斗では最低単価七千五百円を獲得。3月、西戸戦の逮捕者は名簿簿。私を釜にこもる。

6月、才2回全協大会。  
8月、認定才十二百円。

9月、西戸組「山谷互助組合」家動によって、「業者」支配、寄せ場再登場をさくろむ。10月4日、西戸と金野一家による武装襲撃。

山谷で才ニ次反防戦が始まるなか、釜も越冬期をむかえる。

12月17日より一週間、合宿所班による連続学習会。「釜の歴史」部務差別と釜ヶ崎、「子供使と釜ヶ崎」など。

22日、西戸組により山谷争議団支援、佐藤さん刺殺される。派遣団は再び上京。

25日、センターでの布団しき、26日朝の医療相談、労竹相談が又

タート。

29日臨泊受け付け。約七百名が面接、半数が却下。夕方、三

角公園で抗議集会。そして、三角公園の前線基地化、民生局抗議の座り込み、野営をこめて翌日

再度受け付けに向かうという事が確認された。この年から集中期は三角公園野営路線が始まる。

翌30日、臨泊受け付け一三二〇名の人員に対し、半分しか入れ

ずがラガワ臨泊の現状が報告された。抗議集会終了後、人バト

にでた仲間2名が逮捕される。受け付けが終わっても野営、人バトは続く。これに対し西成署機

動隊は警棒を振りかざして人バト隊に襲いかかり、三名が救急車

で運ばれた。  
85年1月4日、対市抗議デモ

(おれまいる)の後三角公園撤収。

1月に入り仕事は順調。医療センターでのアオカンも少しずつ減る。

7日、京都駅パトロール報告。12

月末七条署は駅構内のアオカン者ら約50名を「狩り込み」、写真、指紋を取り、14名を軽犯罪法、淫褻罪で

29日同拘留。釜越冬と東九条生と人権を守る会々の調査で、駅だけではなく京都中の公園で追害されている事かわかった。

14日、京都最大の人夫出し、明輝建設に対する労竹争議。労災もみ消

し、ケタオチ単面などが争点。勝利号で京都にむかい、施主下水道局、元請建設を追求し、労竹系統をす

ぐやる事などを確認させた。

16日、センター撤収。越冬は終ったが明輝自身の責任追求は番斗へと持ちこされた。



(オモテより)

他に豊川、放出、貝塚中央、貝塚サナトリウム、大和中央、杏林記念、山本オ一、富永脳外科病院へ面会をした。

貝塚サナトリウムは、最近多くの仲間が入院させられるようになった精神病院だが、任意で入って全閉鎖である。又アルコール依存症も分裂病の人を何で同じ病棟に入れて、何の治療もしていない。面会した仲間も、入っている意味はないと言っていた。

又、大巾では施設を出たその日にヤ一公の車に引き逃げされ、倒れているところを更にシノヤにやられた仲間を見舞った。

1月6日の医療相談のけっか

相談者	17	名	名	名	名	名
診察	14	名	名	名	名	名
入院	12	名	名	名	名	名
再面					3	名
却下					4	名
法外					4	名
入院					3	名
救急					1	名

# 日刊えっとう '92.1.8 No.16

釜ヶ崎越冬闘争実行委員会  
〒557 大阪市西成区萩之茶屋2丁目5-23  
釜ヶ崎解放会館2階  
電話 06-632-4273

## 越冬を最後まで貫徹したぞ！

仲間たち。

7日の朝、センターにはかなりの「人夫出し」の車が来ていた。ほとんどが飯場主人で、現金の看板はなかった。臨泊も6日の夜で終り、朝センターに帰って来た仲間では「はい」だった。

越冬斗争も7日夜の布団つきで終了する。今年は年末雨にたたられたが、三ヶ日はくもりでけっこう温かな越冬だった。警備班を中心に仲間の結束も強く、アフレの厳しくなる今後の闘いの展望が向けたいような気がする。

本格的な寒さはこれからであり、一人の仲間ののたれ死も許さない闘いと団結をより一層打ち固め、春斗（厳しそう）に向けがんばりたい。

## 医療パトロールで出会ったみんな

夜10時に医療センター前からリヤカーを引いて出発するパトロールに、今年も「支援」の人たちがやってきました。「何で釜に来るんやろ……わかるんは釜にしかないもんかあるんやなっつてゆーことぐうい……自分ほそーいう釜の人達とのつながりをなくすことは考えられない」と書いてある福岡からきた君。1時間かけて神戸から車できたんさん。京都から、西宮から、小さな部屋に合宿しながら昼夜の越冬斗争をこなす。医療相談をうけ弁当数百個つくったり、ふとんしき、その警備、人見パトと医療パト。連日60人ぐういのみんなが心をあわせてやりぬいてゆく。

センターののき下で10年も布団にくるまって寝ているおばあちゃんと言ったHさんは、「あの女はあたしよ」と泣きながら歩いた。「障害」をもつ娘の命を10年も抱き育てたHさん、命ときりむすんでいる容姿をあの女の中にみ込んだらうか。……東京からひっこして釜に住む若いMさんは、「私の大事な仲間をだきしめながら……」と書いています。最終の3日間、奈良から1時間以上かか

(ウラヒコフク)

☆越冬小史担当者より

前半たぎ集めで忙しかつたのと、越冬期間の短縮という事もあり、15回越冬までしか紹介できませんでした。残りは、報告集にまとめて書くつもりです。へはF⑩



### 1/6 医療パトロール報告

山王方面	25名
北まわり	26名
南まわり	74名
センター	81名
計	206名

### 1/6 医療相談のけっか

相談者	40名
受診者	32名
更相行	16名
入院	4名
却下	5名
再面	3名
法外	3名
入院	4名
計	4名

資材班より

仲間を獲得する越冬にすべきだ。始る前に私か思った事です。その為には仲間が参加できる事を多くつくる事ですが、資材班は前段のたき木あつめが中心的任務になっていて、労働者といっしょにたき木を拾いに行くという様な構造にはなっていない。三角公園の近くにコボチの現場でもあれば、みんなでリヤカーで取りに行こうという様なこともできるのだが。残念なことに、集める人、たき木にあたる人と分れてしまっている。それとスケジュールが優先され、何日までどの位のたき木をくという事が設定されている。たき木かない↓人が集まらない↓スケジュールがこなせないという発想だ。

たき木をくめしに愛しても同じだと思ふ。昔は、すき腹が身にしみたら行政をうらめ。寒さがこたえたら曲成署をのろえと訴えかけたものだ。又又老女のぐちになつてしまつた。



以上

炊事班より

日付	12/30	31	1/1	2	3	4	5	6
AM 6:00		198	246	248	325	270		
PM 1:00			448	810	550	300		
6:00	218	351	436	663	740			
9:30	250	350	272	650	400	190	215	212
弁当	50	78	50	72	59	73	25	
おにぎり					478			
のべ	518	977	1452	2443	2552	833	240	212

計 9227

(オモテより)

ってやってきた親子3人、Iさんは「障害」を持つ息子とうでを組んで南まわりをまわる。ヤミの中から彼女の小さくよかな笑みがこぼれる。彼女にもらった耳貫ハガキの中の詩を想った。

わたしは傷を持っている  
でもその傷のところから  
あなたにやさしくかきみてくる

〈雷 弘 作〉

医療ハ  
トロール班

佐藤氏虐殺ハケ年弾劾！  
山岡氏虐殺六ヶ年弾劾！  
金町一家解体！  
野重丸死攻撃粉砕！  
PKOー海外派兵阻止！

**日産全協総決起集会**

一月十二日、午前九時半

玉姫公園

主催 全国日産労働組合協議会

(日産全協)